



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 株式会社だいこう証券ビジネス 上場取引所 東・大  
 コード番号 8692 URL <http://www.daiko-sb.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 晃  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 大矢 光一 (TEL) 03-3666-2231  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,191	46.2	806	—	894	—	813	—
24年3月期第3四半期	9,020	2.2	△50	—	6	—	△491	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,089百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △529百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	31.95	31.87
24年3月期第3四半期	△19.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	46,585	24,630	51.2	936.95
24年3月期	42,604	23,999	54.5	912.55

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 23,852百万円 24年3月期 23,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
25年3月期	—	7.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	41.3	850	212.0	950	181.2	850	—	33.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	25,537,600株	24年3月期	25,537,600株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	80,184株	24年3月期	79,942株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	25,457,532株	24年3月期3Q	25,457,863株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 自己資本規制比率(個別)	11
(2) 株式売買高(先物取引を除く)(個別)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復基調にあったものの、海外経済の減速懸念や円高の長期化による景気下押しリスクが存在する等、先行き不透明な状況で推移いたしました。しかし、平成24年12月の政権交代による新政権への政策期待や円安の進行により、年末に向けて株式市況に回復の動きが見られました。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画（平成23年度から平成25年度まで）の2年目となる平成24年度において、『持続的な成長軌道』への復帰を果たすため、引き続き、「サービスの高品質化・高付加価値化」および「業務体制の効率化」を柱とした諸施策に鋭意取り組んでおります。その具体的な施策として、ITサービス事業の強化を図るため、平成24年7月31日付で、証券バックオフィスシステムのアウトソーシングサービスに強みを持つケーシーエス株式会社（旧富士ソフトケーシーエス株式会社）を子会社化いたしました。また、証券事業における新たなサービスとして、平成24年11月より証券会社への商品供給サービスを開始いたしました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、ケーシーエス株式会社の子会社化等によりITサービス事業の収益が拡大したため、営業収益は131億91百万円（前年同四半期比46.2%増）となりました。一方、ITサービス事業に係る費用が増加したものの、前期に実施した希望退職や事務所の集約等により費用削減が図られ、営業利益は8億6百万円（前年同四半期比8億57百万円改善）、経常利益は8億94百万円（前年同四半期比8億87百万円増）となりました。また、金融商品取引責任準備金戻入等を特別利益として計上した結果、四半期純利益は8億13百万円（前年同四半期比13億4百万円改善）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

#### ① バックオフィス事業

バックオフィス事業におきましては、業務内容の見直しにより口座振替等の業務量が減少した一方で、相続手続き事務代行サービスや外国株式業務等の高付加価値サービスの業務量は増加いたしました。これらの結果、営業収益は56億65百万円（前年同四半期比9.6%減）、セグメント利益（営業利益）は58百万円（前年同四半期比2億18百万円改善）となりました。

#### ② ITサービス事業

ITサービス事業におきましては、大手証券会社向けの証券バックオフィスシステムの提供およびその業務サポートが堅調に推移したことに加え、平成24年7月に子会社化したケーシーエス株式会社の業績が反映されたこと等により、営業収益は62億22百万円（前年同四半期比301.7%増）、セグメント利益（営業利益）は4億88百万円（前年同四半期比931.0%増）となりました。

③ 証券事業

証券事業におきましては、前期に大口顧客を獲得したことにより株式等間接口座管理サービス（C L S）が堅調に推移したことに加え、株式市況の回復により顧客証券会社からの委託手数料等が増加いたしました。また、新たなサービスとして商品供給サービスを開始いたしました。これらの結果、営業収益は9億96百万円（前年同四半期比6.4%増）、セグメント利益（営業利益）は52百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

④ 金融事業

金融事業におきましては、証券担保ローンの融資残高が堅調に増加したことにより貸付金利息が増加し、営業収益は3億7百万円（前年同四半期比16.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1億56百万円（前年同四半期比1億52百万円増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は465億85百万円で、前連結会計年度末に比べ39億81百万円増加しました。これは主に、ソフトウェア等が減少した一方で、営業貸付金、営業未収入金等が増加したことによるものです。また、負債合計は219億55百万円で、前連結会計年度末に比べ33億50百万円増加しました。これは主に、信用取引借入金等が減少した一方で、短期借入金等が増加したことによるものです。純資産合計は246億30百万円で、前連結会計年度末に比べ6億31百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、前回（平成24年8月31日）公表の業績予想を修正し、営業収益177億円、営業利益8億50百万円、経常利益9億50百万円、当期純利益8億50百万円を見込んでおります。

修正の理由

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、ITサービス事業が好調であったことに加え、株式市況の回復等を受け、証券事業が堅調に推移していること等から、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想数値を上回る見込みとなりましたので、上方修正いたします。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したケーシーエス株式会社を連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、連結子会社であった代行科技(大連)有限公司を出資持分の譲渡に伴い、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,874	4,809
預託金	496	652
営業貸付金	12,292	13,906
信用取引資産	8,735	8,645
信用取引貸付金	4,901	4,588
信用取引借証券担保金	3,833	4,057
たな卸資産	—	22
営業未収入金	1,274	2,132
有価証券	162	202
短期差入保証金	3,163	4,118
その他	538	404
貸倒引当金	△250	△245
流動資産合計	31,285	34,647
固定資産		
有形固定資産	1,710	1,778
無形固定資産		
ソフトウェア	7,080	6,392
その他	75	293
無形固定資産合計	7,155	6,685
投資その他の資産		
投資有価証券	2,130	2,418
その他	452	1,172
貸倒引当金	△129	△116
投資その他の資産合計	2,453	3,473
固定資産合計	11,318	11,938
資産合計	42,604	46,585
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	5,525	7,625
信用取引負債	6,320	5,588
信用取引借入金	1,585	238
信用取引貸証券受入金	4,735	5,349
有価証券担保借入金	270	251
有価証券貸借取引受入金	270	251
営業未払金	332	452
未払法人税等	88	353
短期受入保証金	3,639	4,362
賞与引当金	155	193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
その他	1,104	1,583
流動負債合計	17,439	20,411
固定負債		
退職給付引当金	474	1,097
その他	135	263
固定負債合計	609	1,361
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	556	182
特別法上の準備金合計	556	182
負債合計	18,605	21,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,903	8,903
資本剰余金	11,727	11,727
利益剰余金	2,615	3,047
自己株式	△53	△53
株主資本合計	23,193	23,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	227
土地再評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△4	—
その他の包括利益累計額合計	38	227
新株予約権	38	22
少数株主持分	728	755
純資産合計	23,999	24,630
負債純資産合計	42,604	46,585



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	9,020	13,191
営業費用	4,876	8,255
営業総利益	4,144	4,936
一般管理費	4,195	4,129
営業利益又は営業損失(△)	△50	806
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	35	34
受取賃貸料	12	20
その他	10	28
営業外収益合計	62	87
営業外費用		
為替差損	5	—
その他	0	0
営業外費用合計	5	0
経常利益	6	894
特別利益		
投資有価証券売却益	7	1
金融商品取引責任準備金戻入	161	373
その他	23	45
特別利益合計	191	420
特別損失		
固定資産除却損	11	3
投資有価証券評価損	33	—
子会社株式売却損	—	8
減損損失	30	45
事務所移転損失	173	—
希望退職関連費用	282	—
その他	4	5
特別損失合計	534	64
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△336	1,250
法人税、住民税及び事業税	107	355
法人税等調整額	8	△4
法人税等合計	116	351
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△453	899
少数株主利益	38	86
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△491	813

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△453	899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	184
為替換算調整勘定	△2	4
その他の包括利益合計	△75	189
四半期包括利益	△529	1,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△567	1,002
少数株主に係る四半期包括利益	38	86

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バック オフィス	I T サービス	証券	金融	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	6,270	1,548	937	264	9,020	—	9,020
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	62	—	—	—	62	△62	—
計	6,332	1,548	937	264	9,083	△62	9,020
セグメント利益 又は損失(△)	△159	47	50	3	△58	7	△50

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円には、セグメント間取引消去7百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産の情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	バックオフィス	I Tサービス	証券	金融	全社・消去	合計
減損損失	28	0	0	0	—	30

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バック オフィス	I T サービス	証券	金融	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	5,665	6,222	996	307	13,191	—	13,191
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	60	47	—	—	107	△107	—
計	5,725	6,269	996	307	13,299	△107	13,191
セグメント利益	58	488	52	156	755	51	806

(注) 1 セグメント利益の調整額51百万円には、セグメント間取引消去50百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産の情報

「I Tサービス」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にケーシーエス株式会社を連結子会社としたことなどにより、セグメント資産は前連結会計年度の末日に比べ、3,524百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	バックオフィス	I Tサービス	証券	金融	全社・消去	合計
減損損失	45	0	—	—	—	45

(のれんの金額の重要な変動)

「I Tサービス」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にケーシーエス株式会社を連結子会社としたことにより、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、255百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 自己資本規制比率 (個別)

		前事業年度末 (平成24年3月31日) (百万円)	当第3四半期会計期間末 (平成24年12月31日) (百万円)
基本的項目	(A)	22,350	22,749
補完的項目	その他有価証券評価 差額金(評価益)等	81	250
	金融商品取引責任準備 金等	556	182
	一般貸倒引当金	42	66
	計	(B) 681	499
控除資産	(C)	10,137	11,238
固定化されていない 自己資本	(A) + (B) - (C) (D)	12,894	12,010
リスク相当額	市場リスク相当額	346	412
	取引先リスク相当額	363	355
	基礎的リスク相当額	1,769	1,841
	計	(E) 2,480	2,609
自己資本規制比率	(D) / (E) × 100	519.9%	460.2%

(2) 株式売買高 (先物取引を除く) (個別)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	株数(百万株)	金額(百万円)	株数(百万株)	金額(百万円)
合計	2,848	1,167,100	3,159	1,461,254
(自己)	(0)	(52)	(0)	(2,241)
(委託)	(2,848)	(1,167,047)	(3,159)	(1,459,013)
委託比率	99.9%	99.9%	99.9%	99.8%